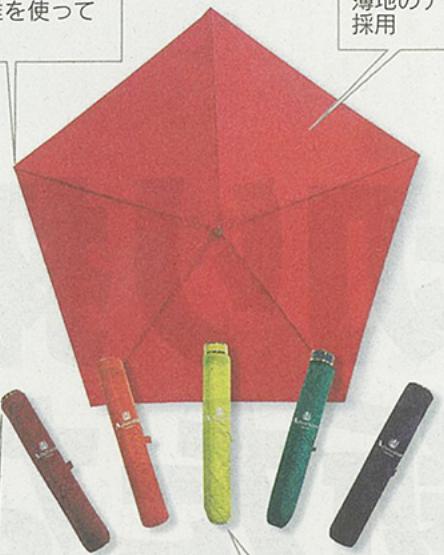


女性向けに機能とデザインを追求した

骨を6本から5本に。
炭素繊維を使って
強く軽く

薄地のナイロンを
採用



持ち手部分に合皮を使い高級感を出した

ナイロンの特徴をいかした
カラーバリエーション

折り畳み傘 軽さ追求



骨に炭素繊維を使って
いるため、製品には東レ
の炭素繊維ブランド「ト
レカ」のタグがつく。価
格は一般的な軽量折りた
み傘の約2倍の824
0円を想定。昨年末に百
貨店のバイヤーに紹介し
たところ好評で、当初は
年間生産1万本を考えて

細い糸を織物にして軽量な生
地をつくる（東レの協力加工
会社、丸井織物の工場）

傘地にナイロン、骨に炭素繊維

防水性と強度維持

いたが、2回ほど追加の
生産をかけて年間2万5
000本程の販売を計画
する。

「1番軽い傘はどれで
すか、と聞いて買うお客様
さんが非常に多い」。オ
ーロラ商品本部の田所秀
明氏は話す。初回投入分
の8000本はすでに完
売見込みという。

開発は困難続き

「御社で1番薄くて軽
い生地はなんですか？」
2年前、新製品開発を検
討していたオーロラの伊
藤美香執行役員は尋ね
た。東レのスポーツ・衣
料資材事業部の長谷川達
郎氏はスポーツウェアに
使うナイロン生地を紹介
しながら、「でもこの薄
手の生地では傘なんてで
きませんよ」と言った。

折り畳み傘はほぼすべてポリエステルでつくれ
れる。温度や湿度が変わ
つても素材が膨張しなく
いなど、傘に適している
ためだ。ナイロンでは気
温や湿度の影響で傘にす
るとシワができるなど使
い勝手が良くない。さら
に長谷川氏は「薄い生地
では雨風に耐える強度が
弱く傘には不向き、直感
的に無理だとおもった」
と振り返る。
それでもオーロラは供

東レとオーロラ、既存製品の半分に

洋傘大手のオーロラは4月、東レと共同で開発した女性向けの超軽量の折り畳み傘の販売を始めた。一般的な軽量折り畳み傘の半分の76gで、担当者は「業界最軽量」と胸を張る。傘地に通常は折り畳み傘に使わないナイロンを、骨に炭素繊維を採用するなど異例づくめの設計で大幅な軽量化を実現した。



(右から) 東レの長谷川氏、オーロラの伊藤氏、田所氏



傘市場、伸び期待薄

算出すると1600~1
700円程度となる。た

くが、骨を減らすと傘地の型
は軽量以外にもメリッ
トがある。発色の良さだ。
トがある。発色の良さだ。
色や機能やデザイン
による。洋傘(パラソ
ル、男女児兼用含む)の
2014年の出荷金額は
21億9200万円。こ
れは、前半で推移している。
今後も国内の人口減少な
どで急激な需要増は期待
しない。

だ消費者にはさらなる軽
量化や、機能やデザイン
の要求は常にあります。オ
ーロラも「機能性と高級感
を両立した商品を作りました
い」という思いから、8
000円台とこれまでに
ない商品作りに挑んだ。
価格の安い輸入品との
差別化には素材を含めた
提案力が問われる。

(湯沢維久)

骨を減らすと傘地の型
は軽量以外にもメリッ
トがある。発色の良さだ。
トがある。発色の良さだ。
色や機能やデザイン
による。洋傘(パラソ
ル、男女児兼用含む)の
2014年の出荷金額は
21億9200万円。こ
れは、前半で推移している。
今後も国内の人口減少な
どで急激な需要増は期待
しない。

だ消費者にはさらなる軽
量化や、機能やデザイン
の要求は常にあります。オ
ーロラも「機能性と高級感
を両立した商品を作りました
い」という思いから、8
000円台とこれまでに
ない商品作りに挑んだ。
価格の安い輸入品との
差別化には素材を含めた
提案力が問われる。

粗悪な印象となる。骨を減らすと1本の骨で支えられる生地が広くなるため、また生地が重くなってしまふ意味がない。東レは独自の生地加工技術で「水漏れ防止機能や強度などのバランスをとった」(長谷川氏)。生地を支える骨の本数を6本から5本に減らして、温度・湿度によりボリュームより膨張・収縮しやすいため、生産時間をさらに軽くしたかったのだ。薄い生地を使って布をさらに軽くしたかったのだ。東レが超薄型として約5年前に発表した生地だった。生地をつくる糸は1万本でわずか8gと
いう細さで、通常の衣類に使われる糸の10分の1だ。

(同)

ただ開発には困難が伴つた。素材には樹脂により表面加工を施し、水漏れ防止や強度の確保、気温や湿度による変化の防止などにつなげる。ただし、ナイロンは水漏れ防止のような表面加工をする

だ。

骨を減らすと傘地の型
は軽量以外にもメリッ
トがある。発色の良さだ。
トがある。発色の良さだ。
色や機能やデザイン
による。洋傘(パラソ
ル、男女児兼用含む)の
2014年の出荷金額は
21億9200万円。こ
れは、前半で推移している。
今後も国内の人口減少な
どで急激な需要増は期待
しない。